

秋系白輪ギク無側枝性品種における作型の違いが側枝発生に及ぼす影響

秋系白輪ギク無側枝性品種である「精興の誠」、「晃花の富士」、「銀水晶」は、12 月出荷作型では「神馬2号」と比較し、摘芽数が少なく省力性であるが、3月出荷作型では摘芽数が「神馬2号」と同程度である。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室 (担当者：熊谷 寛)

研究のねらい

秋系白輪ギクでは、「神馬2号」が全国的に生産されているが、摘芽数が多いため、無側枝性品種の導入が検討されている。

そこで、特に作付けの多い12月出荷型および3月出荷型における秋系白輪ギク無側枝性品種の側枝発生状況について明らかにする。

研究の成果

1. 12月出荷作型における「銀水晶」、「晃花の富士」、「精興の誠」の摘芽数は、「神馬2号」に対して大幅に少なく、半分程度である(図1)。
2. 3月出荷作型における「銀水晶」、「晃花の富士」、「精興の誠」の摘芽数は、12月出荷形と比べ大幅に増えており、「神馬2号」とほぼ同程度かやや少ない(図2)。

普及上の留意点

1. 本試験は、農産園芸研究所ガラスハウスで行い、基肥量を $N : P_2O_5 : K_2O = 15 : 20 : 15$ (kg/10a)、夜温の設定温度を生育期：12℃、消灯後20日間：15℃、出蕾以降：12℃の管理で栽培し、再電照、B-ナイン処理は行なわなかった。
2. 摘芽数については、切り花頂部より75cmの腋枝発生状況を調査したものである。
3. それぞれの平均収穫日、および切り花品質については表1、表2を参照。

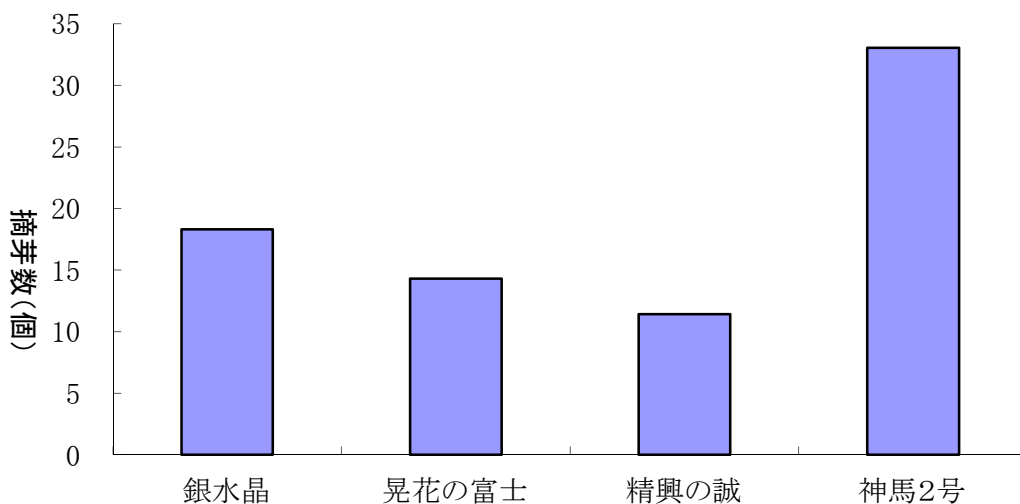


図1 12月出荷作型における各品種の摘芽数

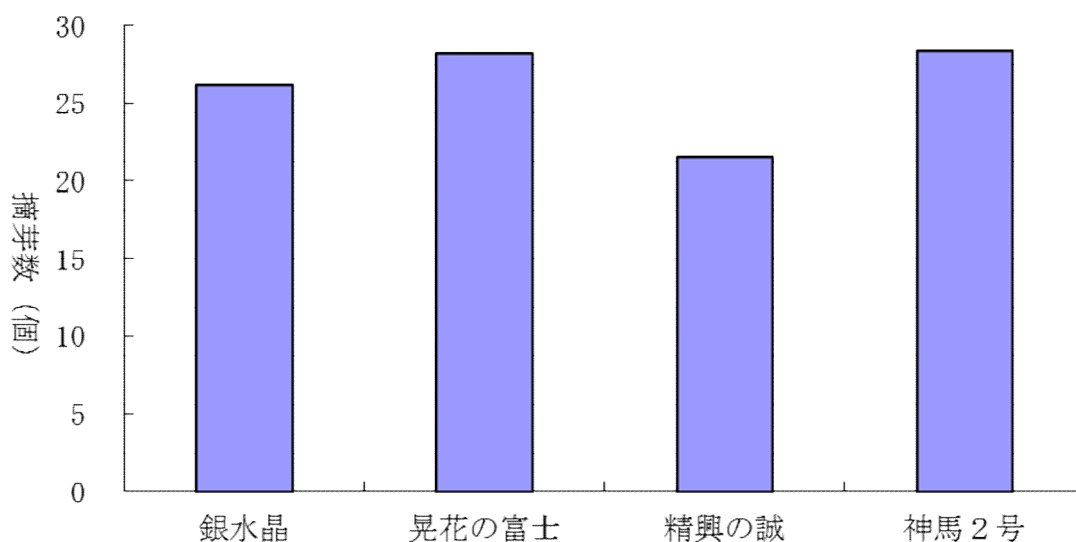


図2 3月出荷作型における各品種の摘芽数

表1 12月出荷作型における各品種の切り花品質

品種名	平均収穫日	消灯時草丈 (cm)	切り花長 (cm)	90cm調整重 (g)	花首長 (mm)	葉数			花径 (mm)	舌状花 (枚)	管状花 (枚)
						消灯時 (枚)	収穫時 (枚)	柳葉 (枚)			
銀水晶	12月7日	77.7	119.8	50.9	8.9	44.6	71.6	1.0	104.6	208.1	17.5
晃花の富士	12月16日	64.1	108.2	60.3	34.4	33	55.9	1.0	105.7	206.7	2.8
精興の誠	12月17日	71.7	119.5	41.3	13.2	32.3	53.2	1.0	103.4	192.6	29.6
神馬2号	12月13日	80.1	123.5	53.4	15.9	37.2	58.6	1.1	111.1	175.9	72.2

表2 3月出荷作型における各品種の切り花品質

品種	平均収穫日	消灯時草丈 (cm)	切り花長 (cm)	90cm調整重 (g)	花首長 (mm)	葉数			花径 (mm)	舌状花 (枚)	管状花 (枚)
						消灯時 (枚)	収穫時 (枚)	柳葉 (枚)			
銀水晶	3月28日	61.3	119.1	77.6	38.7	26.9	54.7	0.7	98.8	254.8	1.3
晃花の富士	3月24日	48.5	94.3	87.6	37.5	22.4	46.4	0.9	132.9	180.3	0.5
精興の誠	3月26日	58.9	121.3	65.2	41.2	25.5	53.1	1.0	108.9	239.1	5.0
神馬2号	3月25日	51.4	103.1	72.0	35.1	22.5	44.6	1.0	108.5	200.1	68.5